

フィンランド語文法

第4回



今日の授業

今回も、前回に引き続いて、フィンランド語の基本的な構文を学びます。また、音声面の大きな特徴である母音調和についても学習します。途中、フィンランドの国歌 *Maamme* 「わが祖国」と、シベリウス(Jean Sibelius)の管弦楽 *Finlandia* 「フィンランディア」の一部に歌詞をつけた *Finlandia-hymni* 「フィンランディア賛歌」を CD で聴いてもらいます。

今日のポイント

動詞の人称変化を覚えるには、口で唱えるのが効果的です。母音調和については、原理を理解すると共に、単語を綴るとき常に意識するようにしてください。

今日の一枚

上の写真は、ヘルシンキの中心部、エスプラナーディ公園に立つ詩人ルーネベリ(Johan Ludvig Runeberg)の銅像です。ルーネベリは、フィンランド国歌 *Maamme* の作詞者です。ただし、ルーネベリもスウェーデン系だったので、元々の詞はスウェーデン語で書かれていました。ちなみに、ルーネベリの詩に曲をつけたのはパーシウス(Fredrik Pacius)ですが、エストニア国歌にも同じ旋律が使われています。